

「買うなら岩手のもの」運動の実施について

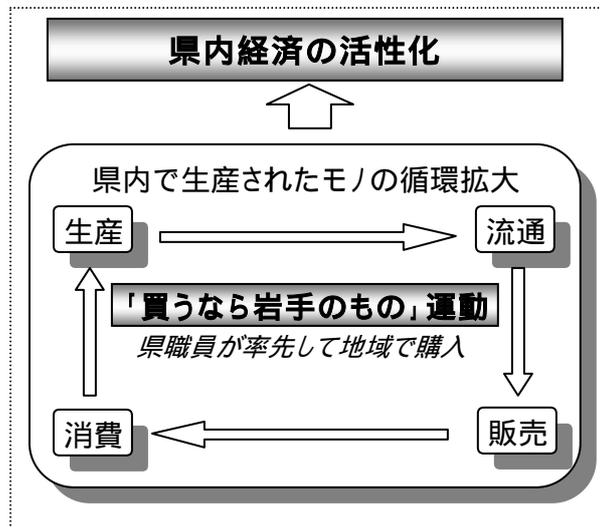
～県内経済の活性化に繋げていくため、県職員が率先して「岩手のもの」の購入に努めます～

世界金融危機の発生に伴って日本国内の経済が悪化し、県内の経済・雇用に大きな影響を与えている中、県内での生産、流通、販売、消費の循環を少しでも大きくし、県内経済の活性化に繋げていくことが重要です。

このため、県職員が率先して、本県産の農林水産物や加工食品、工業製品を含む地場産品等の「岩手のもの」を地域で購入する「買うなら岩手のもの」運動に取り組みますので、お知らせします。

- 1 実施期間
平成 21 年 1 月 13 日(火)～
- 2 実施主体
県職員（家族等を含む）
- 3 緊急アピール
県職員が、「買うなら岩手のもの」運動に取り組むことを宣言するとともに、県民にも身近な地域で「岩手のもの」の購入を呼びかけるもの。
(別紙参照)

【取り組みのイメージ】



4 現時点での主な実施予定事業

項目	実施時期	概要	期待される効果
職員が率先して地元産品を積極的に購入	1/13～	生鮮食品等は、地元産のものを優先して身近な商店や商店街で買う。 フードマイレージを考慮して商品を購入する。	地元産品の消費拡大、地域の商店等の売上げ増
県HP、県民室でものづくり産業をPR	調整が整い次第	県のホームページ上で、県内のものづくり企業と製品のPRを図る。【先行実施済】 県民室にあるものづくり企業の製品展示を拡充して一層のPRを図る。	本県ものづくり産業の理解増進
庁舎内で「岩手のもの」販売会等を開催	〃	県庁生協等の庁舎内売店で、時期及びテーマを決めて地元産品の販売会等を開催する。	地元産品のPRと販売促進
勝手に「岩手のもの」モニター	〃	職員が「岩手のもの」を使用、飲食した感想や改善に向けた提案をイービメントで集め、製造した企業や生産者等にフィードバックする。	より良い製品、農林水産物づくり

更に検討を行い、追加して実施をしていく。

「買うなら岩手のもの」に関する緊急アピール

世界金融危機の発生に伴って日本国内の経済が悪化し、県内の経済・雇用に大きな影響を与えています。

県では国や市町村、関係団体等と連携し、雇用対策や中小企業支援に全力で取り組んでいるところですが、今私たちが直面しているこの危機を希望に変えていくためには、県内で生産、流通、販売、消費が循環し、県内経済の活性化を図るようにすることも重要です。

このため、私をはじめ県職員が率先して、本県産の安全・安心な農林水産物や加工食品、工業製品を含む地場産品等の「岩手のもの」を、幅広く地域で購入する「買うなら岩手のもの」運動に取り組めます。

この運動を広く関係団体などに呼びかけていきますが、県民の皆様も身近な地域で「岩手のもの」の購入を心がけていただきますよう、お願いいたします。

平成 21 年 1 月 13 日
岩手県知事 達 増 拓 也